

ブラジル 2019 年の相場展望

2018 年 12 月 21 日

<新大統領が実施する政策に注目>

ブラジル経済は 2019 年も緩やかな回復が継続すると予想しています。ブラジルは 2013 年から 2016 年にかけて不況に陥り、足元の GDP(国内総生産)は依然としてピーク時よりも約 5%も縮小しています。経済が急速に悪化すると、ほとんどの場合、その後は急速に回復しますが、ブラジルではそうした状況にはならず、2016 年以降、緩やかな回復にとどまっています。その理由としては、ブラジルが輸出しているコモディティ価格が下落していること、企業などの信用状況が悪化していること、長期的な支出に対して大幅な削減が求められるなど財政状況が悪化していることが挙げられます。前大統領のテメル氏は選挙を経ずに副大統領から大統領に就任したことから、政権は一時的なもので構造改革が実行できるかは不透明だと市場は判断していました。しかし、2018 年の大統領選挙ではボルソナロ氏が勝利し、必要な改革を行い、ビジネスフレンドリーな政策を実施することを約束しています。大統領に就任する 2019 年 1 月以降の同氏の政策が期待されます。

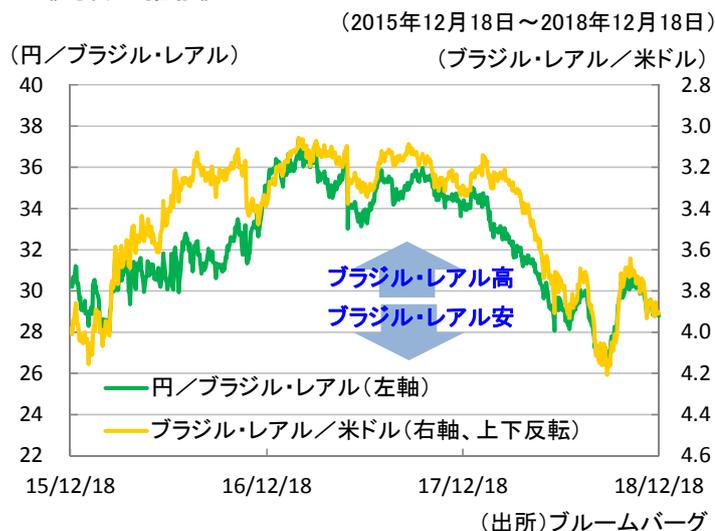
当社では 2019 年のブラジルの経済成長率は 2%と予想しています。工業生産と投資に関する経済指標は足元では低調です。また、政府が財政再建を進めた場合、短期的には経済成長の足かせになる一方で、長期的には財政の健全性が高まることが考えられます。輸出については、急速に増加することは予想されず、それに関する投資はいまだ低調です。しかし、中国や先進国の経済が堅調に推移し、コモディティ価格も上昇傾向となれば、追加的な経済成長要因になるでしょう。

2018 年は新興国通貨にとっては苦しい年でした。ブラジルでは大統領選挙によって政治的不透明感が高まったことや、必要な財政改革の進展がなかったことなどから、ブラジル・リアルについては他の新興国通貨と比較しても厳しい年となりました。ボルソナロ氏が大統領選挙で勝利することが明らかになった後、ブラジル・リアルは一時的に上昇する局面もありましたが、足元では低調に推移しています。

当社ではブラジル経済が 2019 年も緩やかなペースで成長すると考えています。大統領選挙が終わったことで国内の政治的不透明感は後退しており、今後、新政権が必要な経済政策を実施することに伴い、ブラジルへの評価が高まれば、通貨や債券価格の上昇が期待されます。また、米国の利上げ打ち止め観測は、ブラジルを含む新興国債券市場の追い風となりそうです。2015 年以降、米国では断続的に利上げが実施されてきたものの、足元の FRB(米国連邦準備制度理事会)高官の発言からは中立金利を上回るまでの積極的な利上げ姿勢は見られません。2019 年に入り、米国の利上げ打ち止めが視野に入ってくると、これまで軟調に推移してきた新興国債券市場への資金流入が期待されます。

※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

《為替の推移》



《国債金利の推移》



以上

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>